



秋の祭典

'99 金木町産業文化まつり

「'99金木町産業文化まつり」が、十一月一日から三日まで中央公民館と農業者トレーニングセンターで開催され、期間中大勢の町民らでにぎわいました。

文化まつりの部では、嘉瀬安全協会婦人部による交通安全ファッションショーや町内の児童、生徒、園児らによる学芸発表。また、見事なお華や陶芸作品、力作ぞろいの書道や絵画、写真などが場内いっぱい展示されました。

地場産素材にこだわった産業まつりの部では、いも煮会やいも焼会、そば打ち体験が行われ、また、当日参加で農産物が獲得できるゲームが数多く催されるなど、来ておいしい食べておいしい秋の祭典となりました。



▲なが〜く鳴いてたまごをゲット



▶習字や工作など
数々の作品展示



▲ポーズがバッチリきまった
第三保育所の遊戯「龍神祭り」



▶お米を当てるぞ!!
「サイコロチャレンジ」ゲーム



▲金木幼稚園の
メロディオン演奏



▶産業まつり会場から
エフエム青森公開生放送

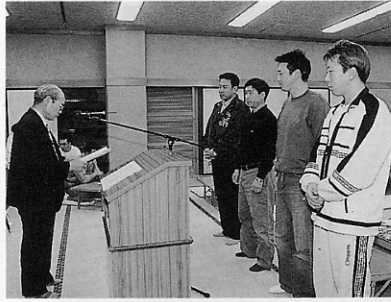


▶どっちもおいしいそう

スポーツの秋



野球



▲優勝したCITY IIのメンバー

最多勝利投手賞

中野功禎 (リラックス)

優秀選手賞

- 古川卓寛 (CITY II)
- 木村 央 (金木町役場)
- 徳田雅丈 (金木倶楽部)
- 斉藤準悦 (リラックス)
- 川村真慶 (県信用金木)
- 中谷 力 (川倉愛球クラブ)
- 川口友彦 (上町クラブ)

【B級】

- 一位 藤枝太陽クラブ
- 二位 のんべえず
- 三位 オールスター

ホームラン賞

小野敬之 (下山自動車)

三塁打賞

川口 均 (のんべえず)

二塁打賞

- 斉藤 学 (オールスター)
- 中谷吉範 (のんべえず)

最多勝利投手賞

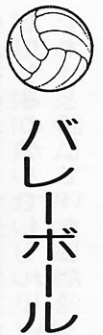
田中道典 (藤枝太陽クラブ)

中谷吉範 (のんべえず)

優秀選手賞

- 工藤文久 (藤枝太陽クラブ)
- 伏見久光 (のんべえず)
- 斉藤 学 (オールスター)
- 下田博行 (下山自動車)
- 畠山寛悦 (MAX)

- 【A級】
- 一位 CITY II
- 二位 金木町役場
- 三位 金木倶楽部
- ホームラン賞
- 川口泰広 (CITY II)
- 三塁打賞
- 其田光平 (川倉愛球クラブ)
- 山中 太 (上町クラブ)
- 川口友彦 (上町クラブ)
- 二塁打賞
- 斎藤和広 (金木町役場)



バレーボール



▲勝利の笑顔`朝日クラブ`

五月十一日から開かれていた金木町ナイターバレーVリーグ戦大会の表彰式が最終日の十月十二日、トレーニングセンターで行われました。

九回目を迎えた今年は、十チームが参加して熱戦を繰り広げました。各チームとも年々レベルアップしている中、接戦を制したのは朝日クラブ。二年連続、四回目の優勝に輝きました。

- 第一位 朝日クラブ
- 第二位 ドンプライズ
- 第三位 上町クラブ



相撲

十月十日、東京都立川市で開催された第十六回全国少年相撲立川大会で、金木町の選

手たちが大健闘しました。

前日に東京入りした選手たちは、荒磯親方(嘉瀬出身・元小結二子岳)のお世話になり、同部屋に宿泊。部屋の手俵でけいこをし、ちゃんこで力をつけて大会に臨みました。

同大会には、全国各地より百十三チーム、八百七十二名が参加。団体戦に参加した金木クラブは全力を尽くして頑張ったものの、全国の壁に阻



▲荒磯親方を囲む未来の力士たち

まれ、二勝一敗で予選突破はなりませんでした。個人戦では、小学三年の部で野上怜選手が準優勝と好成績を納め、四年生の部の津島祐希選手と中学生オープン部の部の新岡秀一選手もベスト8まで進出しました。優勝候補との対戦に惜しくも敗れましたが、各選手とも精いっぱいを出し、応援に駆け付けた鳴海町長や父兄らの声援にこたえて

いました。

全国レベルで活躍する金木町内の各小・中学校相撲部では、一緒に全国を目指す選手を募集しています。

第5回走れメロス 駅伝競走大会

【小学校の部】

- 一位 金木小学校A
- 二位 川倉小学校
- 三位 喜良市小学校

◎区間賞

- 一区 對馬 祐季(嘉瀬)
- 二区 田中 志保(金木C)
- 三区 工藤 剛志(川倉)
- 四区 川嶋 麻耶(金木A)
- 五区 棟方 裕也(喜良市)
- 六区 今 綾乃(喜良市)

【中学校の部】

- 一位 金木南中学校A
- 二位 金木中学校A
- 三位 金木南中学校B

◎区間賞

- 一区 飯塚 緑(金南A)
 - 二区 岡田 大輔(金南A)
 - 三区 新岡 伸子(金木A)
 - 四区 伊藤 翔太(金南A)
 - 五区 古川有希乃(金南A)
 - 六区 奈良 享平(金南A)
- ◇大会新記録
- 一区 飯塚 緑(金南A)
 - 泉谷由李香(金木A)

◀にぎやかな声が
公園内に広がっていました



ともだちいっぱい
できたかな

保育交流会

町内四保育所による年長組
保育交流会が十月十三日、芦
野公園で行われました。
この交流会は来春、小学
校入学を控えた年長組の園児た
ちの友だちづくりのために毎
年行っているもので、今年が
六回目。各保育所の園児が一

緒になって歌やゲームを楽し
み、持参したお弁当を食べな
がら友だちの輪を広げていま
した。

また、第二保育所の杉山倭
文子総括主任保育士がこのよ
うな保育交流会などの活動を
まとめた研究発表を行い、北
海道・東北ブロック保育研究
大会の本県代表四人に選ばれ
ました。この発表が評価され
このほど県保育連合会より表
彰を受けました。

心のこもったプレゼント

金高生手作り じゃがいも贈る

十月二十一・二十二日の両日、
金木高校（校長 村上謙蔵）
の食物の授業と家庭クラブ、
JRC部の生徒らが手作りの
じゃがいもを町内の老人ホー
ムや金木病院などに贈りまし
た。

県ボランティア協力校と町
福祉協力校に指定されている
同校は、活動の一環として町
内の施設慰問やゴミ拾いなど



▶「ありがとう」と笑顔で
(サントピアホーム)

に取り組んでいます。この
じゃがいものプレゼントもそ
の一つ。二十日は、JRC部
二名が代表してサントピアホ
ームを訪れ、じゃがいもと手
作りのポテトコロッケを園生
一人ひとりに手渡すと、園生
に替わって職員らが「いつも
楽しみにしています。みんな
でおいしくいただきます」と
お礼を述べていました。

部員の方々は「皆さんがお
いしかったと喜んでくれる顔
やお礼のカードを送ってくれ
たりするのがとてもうれし
い」と話していました。

120周年の 節目を祝う 川倉小学校で記念式典

川倉小学校（校長 工藤俊
治）の創立百二十周年記念式
典が十月三十日、全校児童と
教職員、来賓など約百五十人
が出席して行われました。

同校は、明治十二年三月、
藤枝に藤枝尋常小学校として
創設され、その後七夕野（国
道端）に校舎を新築。昭和三十
四年、現在地に校舎を移転
しています。

式典では、工藤校長が「地
域の方々熱意と努力により
支えられてきました。百二十
周年を一つの節目に新世紀へ
向けて、より一層頑張ってい
きます」と式辞。歴代教職員
や歴代PTA役員などに感謝
状を贈った後、鳴海町長らが
式辞を述べました。

また、記念セレモニーとし
て、以前から交流を深めてい
るサントピアホームの皆さん
による登山ばやしと全校児童
による太刀振りが披露される
と、あしの園の園生らをはじ
めとする出席者から大きな拍
手が送られていました。



▶出席者全員で
校歌斉唱

あしの園



▲お世話になった米谷さん夫妻（後列右）と一緒に

リンゴ 収穫体験

特別養護老人ホームあしの園（園長 中谷衛）の園生によるリンゴの収穫体験が十月十三日、中柏木のリンゴ園で行われました。

この収穫体験は、リンゴ栽培を始めて三年目になる米谷哲さん（喜良市）が、収穫の喜びを園生の皆さんにも味わってもらいたいと行ったもの。

「カルシウム入りの肥料を使用し、体に良いおいしいリンゴが出来たので、ぜひ食べてもらいたいと思った」と語る米谷さん。以前から子どもも会活動などを通して同園でボランティアを行っていたこともあって、この日は十名の園生を招待してリンゴもぎを行いました。

園生らは「初めての体験でもとても楽しかった。またやってみよう」と話し、たくさんのリンゴを手に笑顔を見せていました。

林業の大切さ学ぶ

嘉瀬小 森林教室

山の緑がうっすらと紅葉し始めた十月二十五日、金木町の民有林で嘉瀬小学校森林教室が開催されました。

今年六月の「嘉瀬小学校緑の少年団」の結団にともない、北地方農林事務所が山の仕事について学んでもらおうと開いたもので、この日は六年生三十五人が参加して行われました。児童らは、良い材木を作るために重要な枝打ちという作業を体験。職員からノコギリの使い方と枝の切り方に



▶初めてとは思えない手つきで枝を切る児童ら

ついて指導を受けた後、ヘルメットと軍手を着け、早速手の届く範囲内の枝打ちを行いました。この後、枝打ちロボットの作業を見学。児童を代表して松川幸祐樹くんがロボットのリモコン操作に挑戦し、次々と枝を切り落としていました。

児童らは「楽しかったけど枝がなかなか切れなくて。林業は大変な仕事だけど、私たちの生活にとっても重要だということが分かった」と話し、枝打ち体験をおして、酸素や水の供給のために林業が大切だということを学びました。

天災・人災に備え

総合防災訓練

山林へ向けて放水訓練



平成十一年度金木町総合防災訓練が十月二十日、金木町消防団員、金木消防署員ら約百人が参加して行われました。はじめに、金木消防署前で



▲消防署員による救助作業

消防署前では、救助工作車が出動し、消防署員が油圧カタパルトなどで車を解体。車内に閉じ込められた人（ダミーマン形使用）を救出する作業が行われました。この他、消防団員による救急搬送訓練と役場職員らの消火訓練が行われ、地域の防災体制の強化が図られました。